

令和6年
長浜市議会定例会招集議会
市長提案説明

令和6年8月1日

- 1 長浜市こども若者住宅新築支援事業に関する事務処理
- 2 観光振興に関する取組
- 3 「全日本実業団ソフトテニス選手権大会」に関する取組
- 4 議案説明
 - ・ 補正予算 1 議案（議案第101号）
 - ・ 人事議案 1 議案（議案第102号）

本日ここに、令和6年長浜市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方には、ご参集を賜り、厚くお礼申し上げます。

議案の説明に先立ち、市政運営に関して、議員の皆様や市民の皆様と共有させていただきたい3点について述べさせていただきます。

まず、1点目として「長浜市こども若者住宅新築支援事業」に関する事務処理について報告いたします。

本事業は、子育て世帯・若者夫婦の定住促進と若者人口の転出超過改善を目的とした市独自の支援策です。要件の周知不足と審査の不備により、本来対象とならない方々に対して誤った交付決定を行うという事務ミスが発生し、対象とならなかった56名の方々、工務店や事業所の関係者の方々に大変ご迷惑をおかけし、深くお詫びいたします。

この事態を受け、6月17日の産業建設常任委員会での報告後、住宅課職員が対象の56名の皆様を直接訪問し、状況説明をさせていただきました。

訪問の際には、制度を利用された経緯やご事情について

も詳細にお聞かせいただき、残念ながら現行制度では要件には合致しないものの、市が想定していた趣旨に沿った利用を考えていただいていた方が多数存在することも確認いたしました。そこで、私も担当部局職員とともにこの施策のあり方を再考し、9月議会での補正予算提案に向けて、支援する対象幅を拡大した新制度の創設を進めております。新制度では、今回交付決定の取り消しとなり、不交付の決定となった方々も包括することのできる仕組みを積極的に検討しております。詳細は補正予算の提案の際にご説明いたします。

今回の事案を通じて、基本的な要件を見落とししたり、上司が現場任せでチェックが不十分になるなど、どの組織でも起こりうる課題が顕在化したと認識しております。これまで構築してきた内部統制の仕組みに基づき、未然防止策を検討するなど、組織全体で業務リスクの管理に取り組んでまいります。いずれにしましても、制度の不断の見直しにより、より良いものを常に目指してまいります。

2点目として、観光振興に関する取組についてご報告い

たします。

7月1日に「長浜観光連携プラットフォーム」及び「豊臣兄弟博覧会実行委員会」が設立されました。これは昨年度開催の長浜450年戦国フェスティバル事業を通じて生まれた、長浜全域にわたるお祭りや観光関係の新しい繋がりと絆を、未来に向けてさらに発展させていくものです。

このプラットフォームは、単に2年後の大河ドラマに向けた準備組織というだけでなく、長浜の観光振興全体を見据えた、重要でかつ長期的な取組です。市内各地の祭りやイベント、関連団体の情報を一元的に共有・発信し、地域間連携と魅力ある観光地づくりを目指しています。

さらに、若い世代が積極的に関わり、自分たちの地域に誇りを持てるようなシビックプライドの醸成にもつなげていきたいと考えております。2026年の大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放映は、こうした取組を加速させる絶好の機会です。明日8月2日には、県と共にNHKを表敬訪問し、ロケ地の活用やキャストによるトークショーの開催など、ドラマの盛り上げに向けた要望を行う予定をしております。

また、7月25日には、新たな着物イベント「長浜^{きもの}kimono

アワード

AWARDS」の開催が発表されました。これは従来の着物イベントを見直し、若手を中心に新たな観点から企画を立て直しされたものです。10月12日に開催予定のこのイベントでは、大通寺山門前の表参道をランウェイと見立てた新しいスタイルの着物ショーや、服飾系学生などによる着物ファッションショーコンテストなど、新しい要素を取り入れられました。また、従来の「着物のつどい」の要素を活かしたカルチャー講座やグルメフェアも開かれます。秋の曳山交替式や鉄砲まつりも同時に開かれます。地元の浜ちりめんなどの素材を活かしながら、長浜の地場産業を新しい形で発信する試みとして大いに期待し、長浜市も応援していきます。

3点目として、7月27日、28日の二日間開催されました「全日本実業団ソフトテニス選手権大会」の開催について報告いたします。

全国各地から男女合わせて140を超える実業団チームが長浜市民庭球場と長浜バイオ大学ドームに集結し、二日間で延べ3,100人もの観客の前で、猛暑にも負けない

熱い戦いを繰り広げられました。

また、この大会は、「わた^しが^がSHIGA輝く国スポ ソフトテニス競技」のリハーサル大会として、来年の大会に従事するスタッフやボランティアが運営に関わり、競技団体との協力・連携、観客の動線や駐車場の誘導などを実際に経験する機会となりました。

今回得られた貴重な運営ノウハウを存分に活かし、来年の国スポ・障スポ大会を成功裏に開催できるよう、万全の準備を進めてまいりますので、議員の皆様方にも引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

以上、主な報告事項について申し上げます。今後とも市政運営に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、提案いたしました議案につきまして、ご説明申し上げます。

議案第101号は、一般会計の補正予算で、総額1億

2, 300万^よ余円の追加補正であります。

その内容としましては、年度内に新たに予算措置が必要となったものです。

衛生費では、新型コロナウイルスワクチンの定期接種につきまして、国が当初想定していたよりもワクチン単価が上昇することから、追加で必要となる費用を計上しております。

土木費では、現在進めている田村駅東口駅前整備工事の労務単価の上昇等による追加費用について、債務負担行為を設定しております。

以上の財源といたしましては、諸^{じゅうとう}収入を充^{きんこう}当し、収支の均衡を図っております。

次に、議案第102号は、現監査委員の西岡^{にしおか} 末雄^{すえお}氏の任期満了に伴い、後任として、桐山^{きりやま} 恵行^{やすゆき}氏を選任することについて、地方自治法の規定に基づき、議会の同意をお願いするものであります。

にしおか
西岡氏におかれましては、豊富な行政経験と識見により、本市の行財政運営に対する的確なご指導を賜りましたことに厚く感謝申し上げます。

きりやま
後任の桐山氏におかれましては、長年にわたり会社経営に携ってこられ、現在も長浜曳山文化協会や長浜観光協会、商店街連盟の役員を務められるなど、本市の経済、伝統文化、観光やまちづくりにも深く関わっておられる方です。また、本市の教育委員長に就任いただいたご経験もあり、行政運営に対しても深くご理解をいただいているところでもあります。このように、豊富な経験と識見を有しておられることから、公平公正で適正な行財政運営にご指導をいただくにあたり、監査委員として適任であると考えております。

以上、本日ご提案申しあげました諸議案につきまして、なにとぞ、慎重なるご審議の上、ご議決を賜りますようよろしくお願い申し上げます。